

第9期(2007年3月期) 中間決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証ヘラクレス,証券コード8462)

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2006年9月30日現在です。

FVCの理念と特徴



創業理念 企業家の夢の実現を応援する

- 上場VC中唯一の個人創業独立系VC
ベンチャー企業の経営者に近い立場で
投資育成活動を行うことができる
- 京都に本社を置き、積極的な地方展開
地元に拠点を置き、徹底した現場主義を実現
- アーリーステージの企業に重点を置いた投資
ハンズオンを通じて高いリターンを狙う

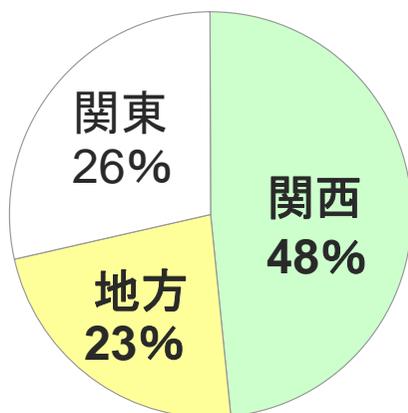
1. フューチャーベンチャーキャピタルについて

FVCの投資の傾向



地域

《地域別分類》



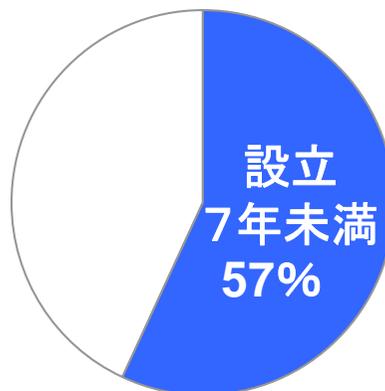
関西・・・京都、大阪、兵庫、滋賀、奈良
地方・・・三重、石川、岩手、愛媛、山形、その他
関東・・・東京、茨城、神奈川、群馬、千葉

※各地域における投資残高をもとに算出

地方での
重点的な投資

ステージ

《設立年別分類》

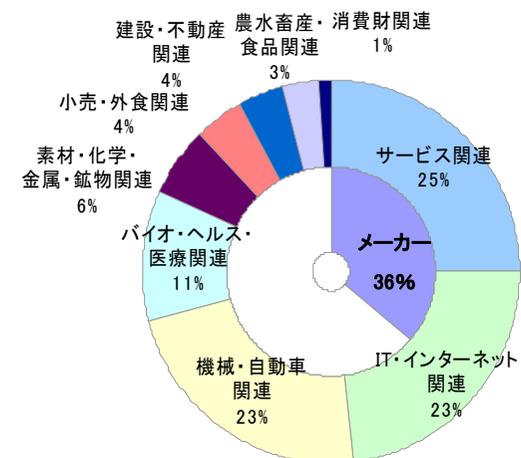


※初回投資時点の設立後経過年数
※設立年別における投資残高をもとに算出

アーリーステージ
中心の投資

業種

《業種別分類》



※VEC調査によると、日本のVC全体では、メーカーへの投資比率は17%ほどと推測される

ものづくり企業
重視の投資

FVCの地方展開

■ 積極的な地方展開による幅広いネットワーク

地域振興の行政ニーズがある地域へ進出
⇒ FVCが事務所を設置

■ 地域プラットフォームの活用・・・国内VCとの差別化

⇒ 自治体・地元企業・FVCなどによる
地域全員参加型の投資育成活動を展開
⇒ 案件発掘の深堀が可能となり、独自案件が入手できる

★
投資拠点

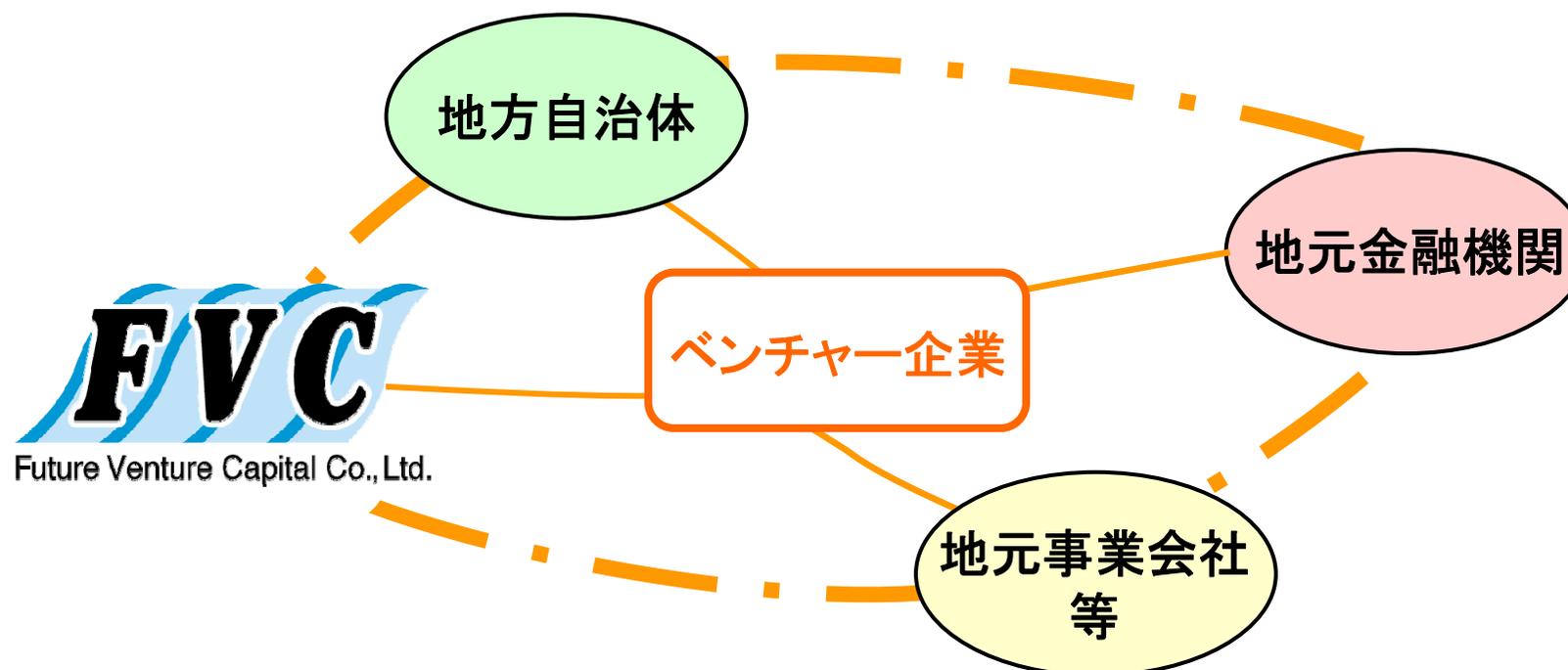

投資拠点がカバーする投資エリア

2006年9月
愛媛事務所設置

2006年7月
浜松事務所設置

地方での案件発掘体制

独立系・・・グループによる「しがらみ」が存在しない。
⇒ その地域の特性に合ったベストパートナーと連携可能



地域の経済を主導するプレイヤーと連携し、
強固なベンチャー支援ネットワークを構築

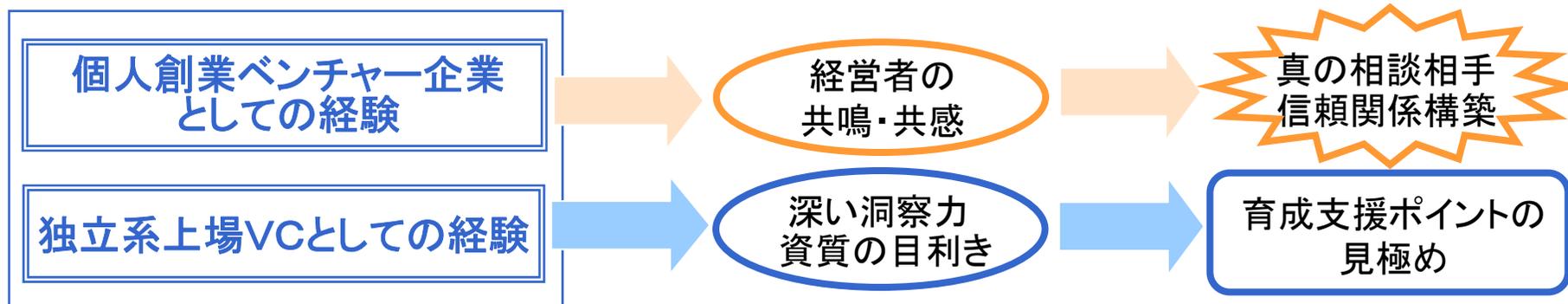
FVCの目利き・ハンズオンの特徴



投資育成基本方針

信頼関係の構築

積極的な経営関与



リスクリターンに見合った投資判断
適切なハンズオン

アーリーステージ企業への積極的な投資が可能

2. 第9期中間(2007年3月期)活動報告

第9期中間(2007年3月期)決算



	第8期 2006年3月期 2005/9～2006/3【7ヶ月】	第9期中間 2007年3月期 2006/4～2006/9【6ヶ月】
売上高	488百万円	456百万円
営業利益	53百万円	41百万円
経常利益	35百万円	39百万円
当期純利益	32百万円	35百万円
株主資本	2,514百万円	2,570百万円
総資本	3,237百万円	4,032百万円
株主資本比率	77.7%	63.8%

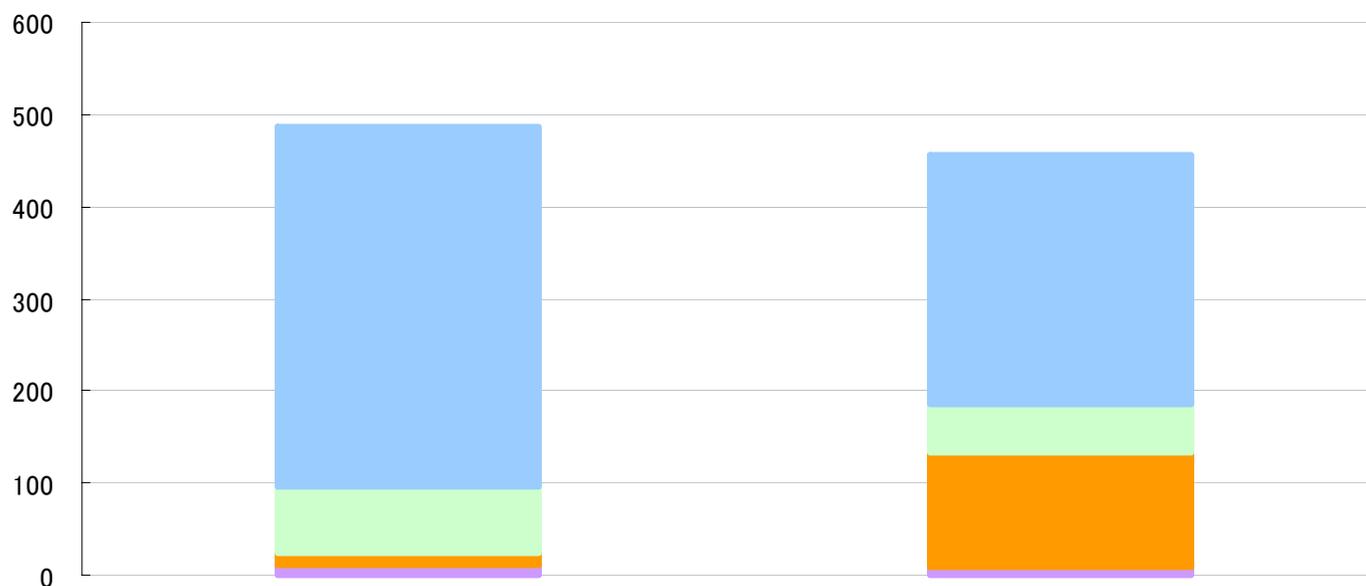
※ 全事業年度は7ヶ月間の変則決算となっております。よって、当中間会計期間は全事業中間会計期間との比較を行っておりません。

2. 第9期中間(2007年3月期)活動報告

売上高の内訳・前年比較



(単位:百万円)



(単位:百万円)

2006年3月期【7ヶ月】

2007年3月期中間【6ヶ月】

投資事業組合等管理業務	391	80.1%	272	59.7%
コンサルティング業務	73	15.1%	51	11.2%
営業投資有価証券売上高	12	2.5%	124	27.2%
その他	11	2.3%	8	1.9%
計	488	100.0%	456	100.0%

2. 第9期中間(2007年3月期)活動報告

第9期中間における上場企業



2006年6月5日



夢の街創造委員会株式会社

大阪府中央区 大証ヘラクレス上場 2484

出前フード専門のWebサイト「出前館」の運営が主力。生活トラブル解決サイトも運営受託

2006年7月13日



株式会社パワーアップ

愛媛県松山市 大証ヘラクレス上場 3044

株式会社パワーアップ

イタリア家庭料理店「元祖にんにくや パワーアップグループ」等の店舗運営

営業投資有価証券にかかる損益の詳細

営業投資有価証券

	上場有価証券	未上場有価証券
売上高	121百万円	0百万円
売上原価	8百万円	117百万円
(うち投資損失引当金) [前期までに計上済]	-	(116百万円)

投資損失引当金 新規繰入額	12百万円
強制評価損	38百万円

差引損益 ① 113百万円 ② △0百万円 ③ 50百万円

$$\textcircled{A} \ 113\text{百万円} + \textcircled{B} \ \Delta 0\text{百万円} - \textcircled{C} \ 50\text{百万円} = \mathbf{63\text{百万円}}$$

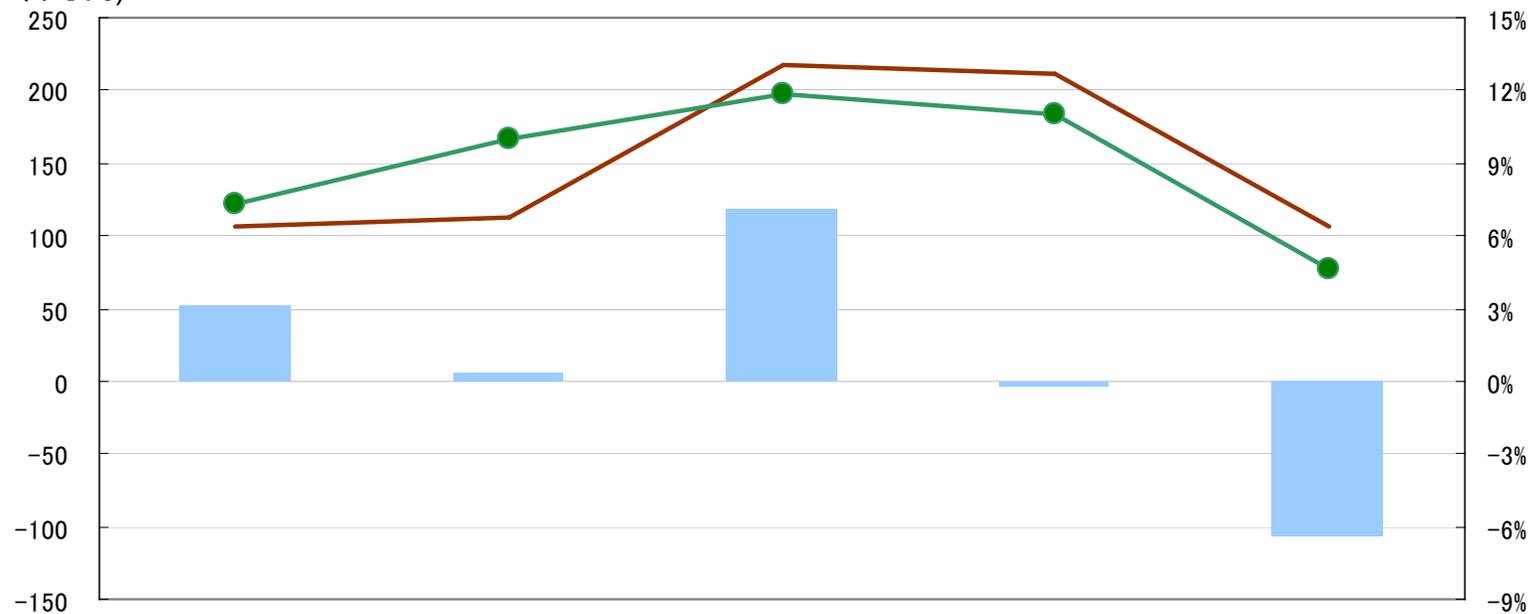
営業投資有価証券にかかる
利益額

2. 第9期中間(2007年3月期)活動報告

投資損失引当金の推移



(単位:百万円)



(単位:百万円)

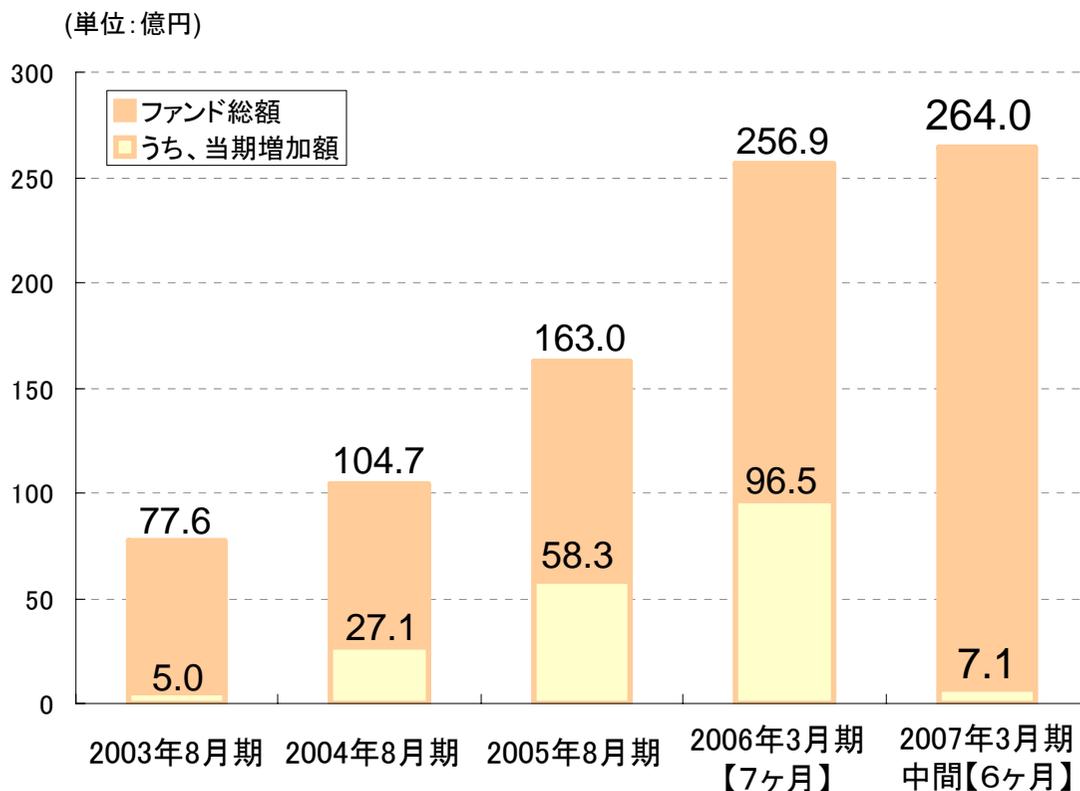
	2003年8月期	2004年8月期	2005年8月期	2006年3月期 【7ヶ月】	2007年3月期 中間【6ヶ月】
営業投資有価証券	1,454	1,126	1,831	1,927	2,264
引当金繰入額	51	6	119	△4	△106
引当金残高	105	112	217	212	106
営業投資有価証券に 対する引当率	7.2%	9.9%	11.9%	11.0%	4.6%

※2005年8月期より、営業投資有価証券と営業投資有価証券に対する引当率には営業出資金を含んでいます。

ファンド総額の推移

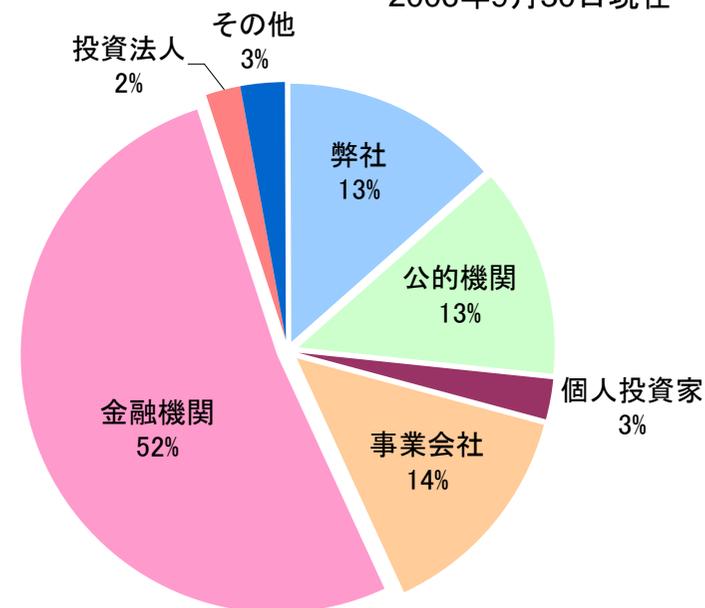
2006年9月30日現在のファンド総額 264.0億円

《ファンド総額の推移》



《ファンド出資者構成》

出資金額ベース
2006年9月30日現在



第8期に新設・増額したファンド



【新設ファンド】

2006年9月 **しずおかベンチャー育成投資事業有限責任組合** **2.1億円**

静岡県内の将来株式上場を目指すベンチャー企業への投資を目的に設立。
設立メンバーには地元有力行である静岡銀行が参加。県内の金融機関や事業会社などにも参加呼びかけを行いながら、来年度の政令指定都市をめざす浜松市等とも連携し、10億円規模のハンズオン(経営支援)型本格的ベンチャーファンド事業の推進を目指す。

【既存ファンドの増加】

	増加金額	増加後 ファンド総額
アーバン・エフブイシー・ベンチャー育成投資事業有限責任組合	4.0億円	10.0億円
いわてベンチャー育成2号投資事業有限責任組合	1.0億円	2.9億円

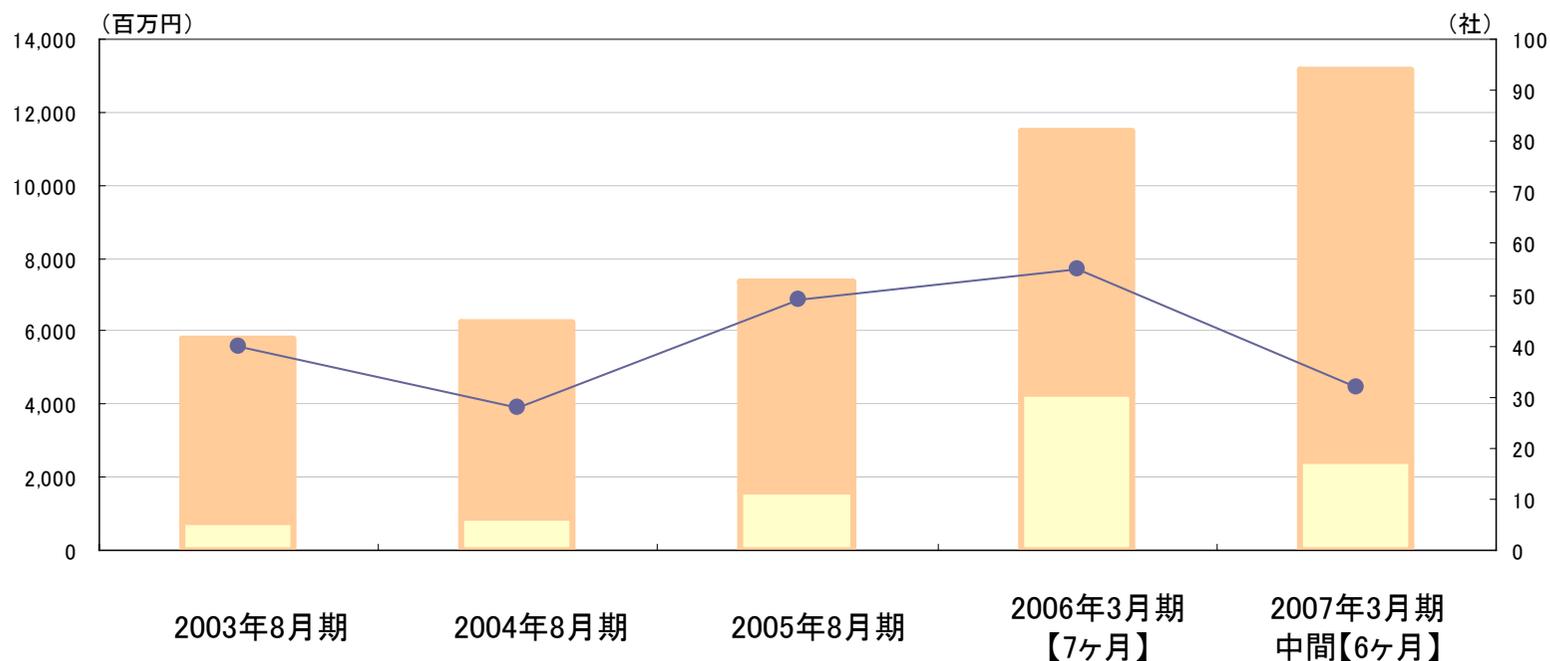
以上から、第9期中間に増加したファンド額は、 **7.1億円**

2. 第9期中間(2007年3月期)活動報告

投資金額・社数の推移



1件あたり投資金額の高水準を保つ。



(単位:百万円)

	2003年8月期	2004年8月期	2005年8月期	2006年3月期 【7ヶ月】	2007年3月期 中間【6ヶ月】
投資残高	5,822	6,225	7,347	11,471	13,145
うち、当期投資額	754	905	1,594	4,270	2,449
当期投資社数 [右軸]	40社	28社	49社	55社	32社
一社当たり投資金額 [※]	18.8	32.3	32.5	77.6	76.5

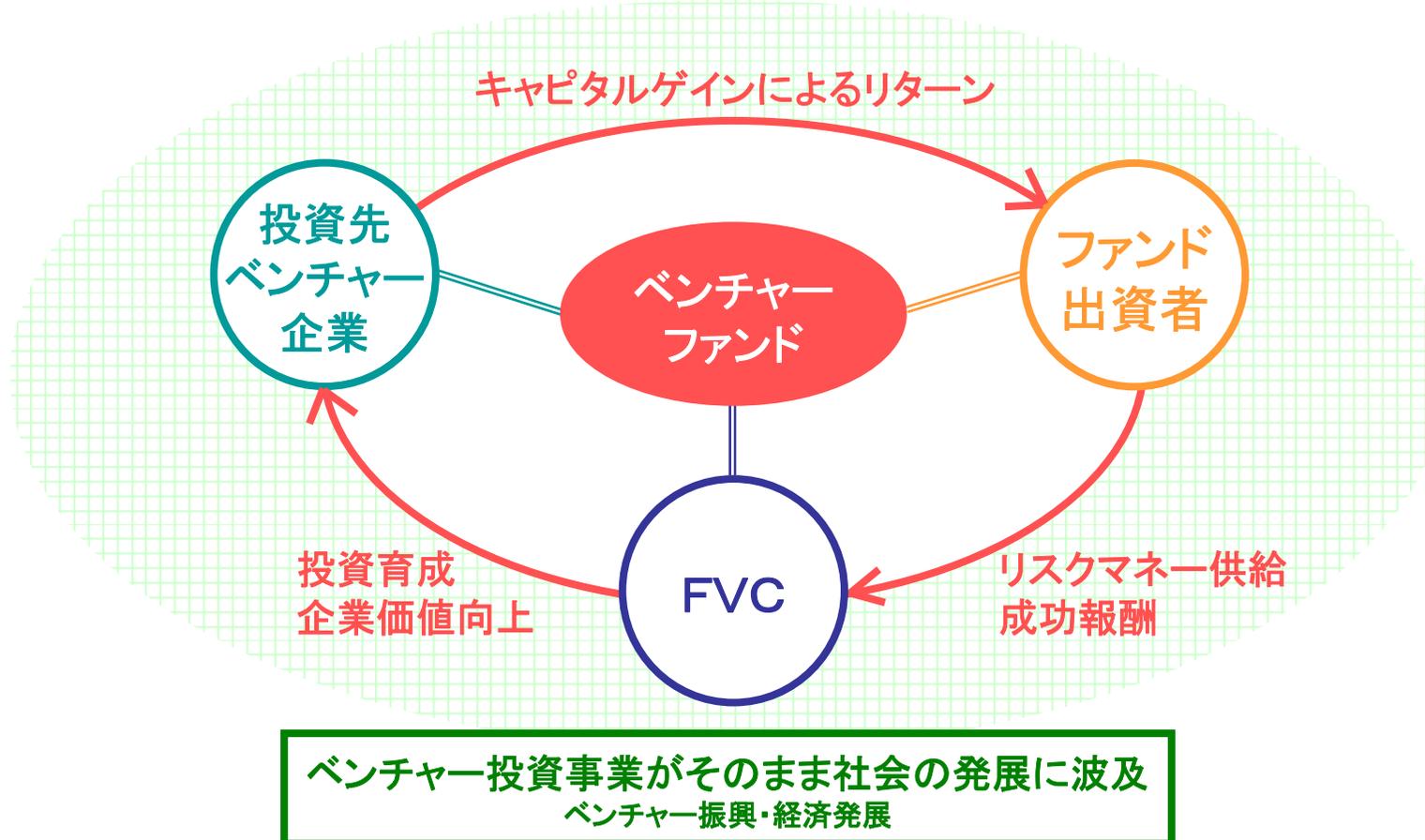
※ 一社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

- **投資先企業のIPOによる利益の拡大**
 - ▶ ファンドの管理報酬で経費がまかなえるようになってきた
 - ▶ 投資先企業がコンスタントに株式公開する体制を整え、利益を拡大していく

- **地方展開の更なる進展**
 - ▶ 現在の事務所を強化し、周辺地域への投資も可能なブロック拠点を作っていく
 - ▶ 現在、拠点のない地域にも積極的に展開を行う

- **投資業務拡大のためのファンド組成**
 - ▶ 新卒採用の若手が育ってきており、投資能力は充分にある
 - ▶ FVCグロースファンド(総額100億円)の後継ファンドも検討課題となる

「三方よし」を実現するサイクルでの事業推進
～弊社・投資先企業・ファンド出資者・社会経済すべての価値を向上させる～



※「三方よし」とは、近江商人に古くから伝わる処世訓であり、「売り手」「買い手」「世間」すべてが「よし」となるような商売が結果的に成長するという意味を持っています。

【参考資料】

【参考資料】

直近5カ年の業績推移 ①



(単位:百万円)

	第5期 2003年8月期	第6期 2004年8月期	第7期 2005年8月期	第8期 2006年3月期	第9期中間 2007年3月期
売上高	362	535	592	488	456
うち投資事業組合等管理業務	220	227	395	391	272
うち営業投資有価証券売上高	33	177	77	12	124
うちコンサルティング業務	100	121	111	73	51
売上原価	440	354	467	291	291
うち営業投資有価証券売上原価※	78	70	32	43	126
うち投資損失引当金繰入額	51	6	119	-4	-116
販売費及び一般管理費	150	167	198	144	141
営業損益	-228	13	-73	53	41
経常損益	-224	9	-90	35	39
当期(中間)純損益	-204	4	-101	32	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	-93	251	-586	-232	-665
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3	-18	-51	5	-35
財務活動によるキャッシュ・フロー	163	-135	683	829	721
現金及び現金同等物期末残高	166	263	309	911	930

※ 減損額を含めております。

【参考資料】

直近5カ年の業績推移②



(単位:百万円)

	第5期 2003年8月期	第6期 2004年8月期	第7期 2005年8月期	第8期 2006年3月期	第9期中間 2007年3月期
営業投資有価証券	1,454	1,126	1,831	1,927	2,264
営業出資金	1	105	-	-	-
投資損失引当金	105	112	217	212	106
負債	658	547	828	722	1,461
純資産	1,090	1,089	1,484	2,514	2,570
自己資本比率	62%	66%	64%	77%	63%
総資産	1,748	1,636	2,312	3,237	4,032
					(単位:円)
1株当たり当期(中間)純損益	-9,296	194	-4,395	1,132	1,093
1株当たり当期(中間)株主資本	49,598	49,546	59,321	77,794	79,533

会社概要



- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社(FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 1,886百万円
- 発行済株式総数 : 32,338.67株
- 株式公開市場 : 大阪証券取引所ヘラクレス(8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階
- 従業員数 : 52名
- 事業内容 : 未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など